

武庫川流域委員会

委員長 松本 誠 様

2004年10月31日

流域委員会委員 法西 浩

23号台風は武庫川流域の住民にとって、思いもよらない痛痕の窮みであった。私は武庫川流域委員会委員の1人として、被害の状況を調査すべき責任感にかられて、10月23日（土）・24日（日）に、テレビ・新聞などで報じられている被害の地域を視察した。書面で私の見た被災の状況と、それを踏まえた若干の感想を述べたい。被災者の方々には心よりお見舞い申し上げるとともに、1日も早くもとのふだんの生活にもどられますようお祈り申し上げます。

・10月23日午後くもり寒い。JR武田尾駅から北へ、宝塚市玉瀬ゆずりは（武庫川左岸）と西宮市塩瀬町名塩（武庫川右岸）視察。トンネルを出たすぐの武田尾橋（吊り橋）^は川に落下していた。旅館街の左岸と右岸の旅館数軒は浸水し、右岸の護岸とその上の道路は数10mにわたって崩落していた。左岸は道路まで水が達していなかったが、護岸のほぼ上端まで到達し、右岸は護岸の道路をはるかに越え、崖の斜面の約2mの高さまで達したと思われるゴミの堆積が岸に付着していた。少し下流の温泉橋では、左岸から右岸に渡る道路に穴が開いていて、通行止めになっていた。右岸の橋のすぐ下の道路と護岸は大きくえぐられ崩落していた。支川僧川の武庫川左岸流入部から、僧川の増水と、本流の増水による越流によって、民家が床上まで浸水した。ここではすでにボランティアの人たちが跡かたづけをしていた。新聞では23棟が浸水したという。

・ここから阪急宝塚駅に着き、リバータウンを訪れた。宝塚歌劇場側の河川敷（左岸）の敷石が約200mではがれていた。少し上流岸では、護岸が数10m崩落していた。さらに上流右岸生瀬大橋（西宮市武庫川町）付近で約100mの護岸が道路とともに崩落し、すでにユンボ5台が河床に入り働いていた。橋下の下流左岸でも数10mの護岸が崩壊し、護岸に面した民家が河に落下する寸前になっていて、ここにもユンボ2台が河床に置かれていた。

・24日晴暖い。早朝武庫川下流申武橋に来た。左岸、右岸ともに河川敷の松林の下端まで増水したらしく、デブリの堆積の跡がみられた。低水路の水流は激しく、河床の植物がなぎ倒され荒れはてていた。もう少し水位が高くなれば、甲武橋の堤外の道路が冠水していただろう。

・午後木之元 のリバーサイト住宅の被災地の視察。新聞では81棟が床上浸水したという。武庫川本流の増水と、支川名塩川の川口部の増水の相乗効果によって、護岸のパラペットを越えた水が床上まで浸水した。すでに多くのボランティアの人々が働いていた。とても近くでは写真が撮れなかったし、近づくこともはばかられた。ここで働いていたボランティアの中の、1人のよく知った人に出合った。その方と少し話をしていると泪があふれてきた。

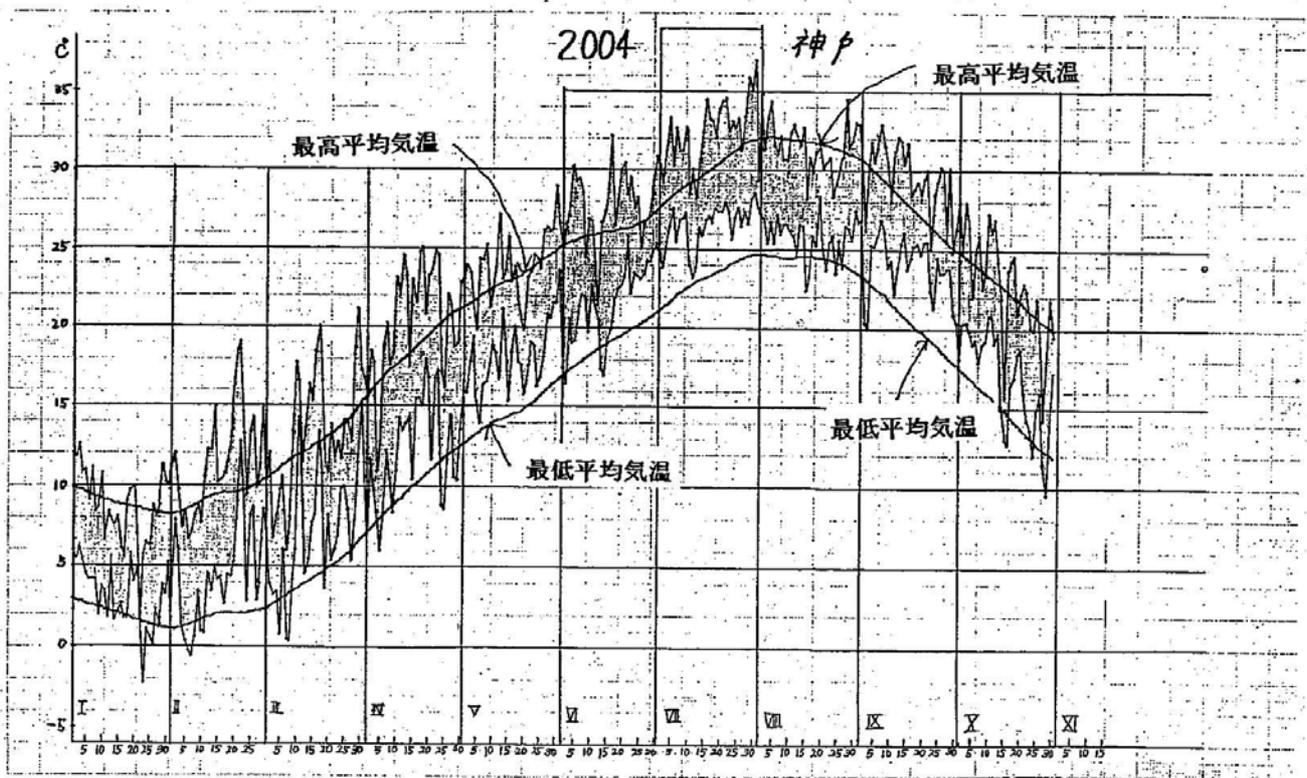
・今回の視察では、約100枚の写真を資料として残した。

今回の視察と、テレビ・新聞などの報道から私見を若干述べたい。

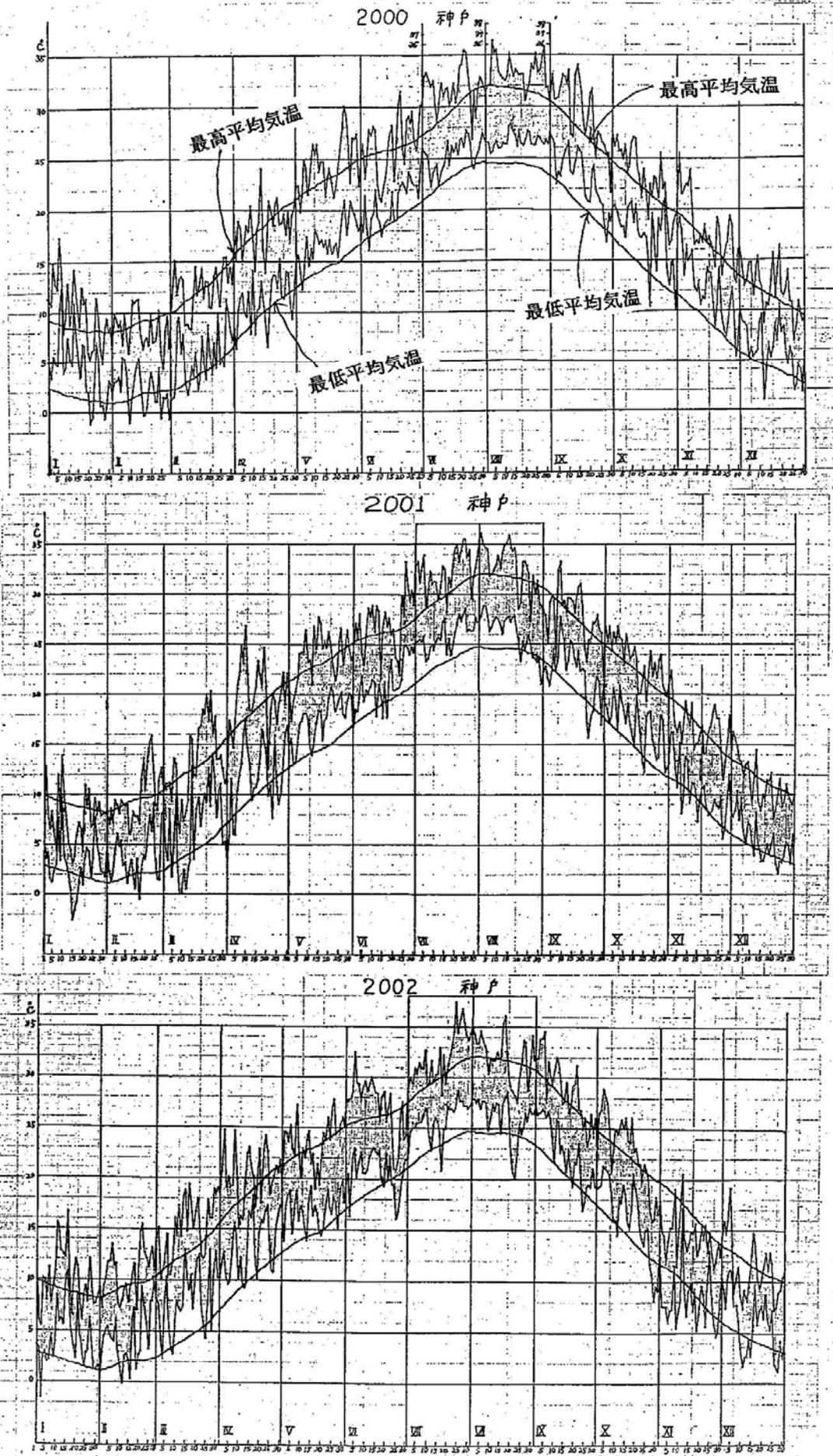
・崩壊した護岸と道路の復旧と整備を1日も早くお願いしたい。

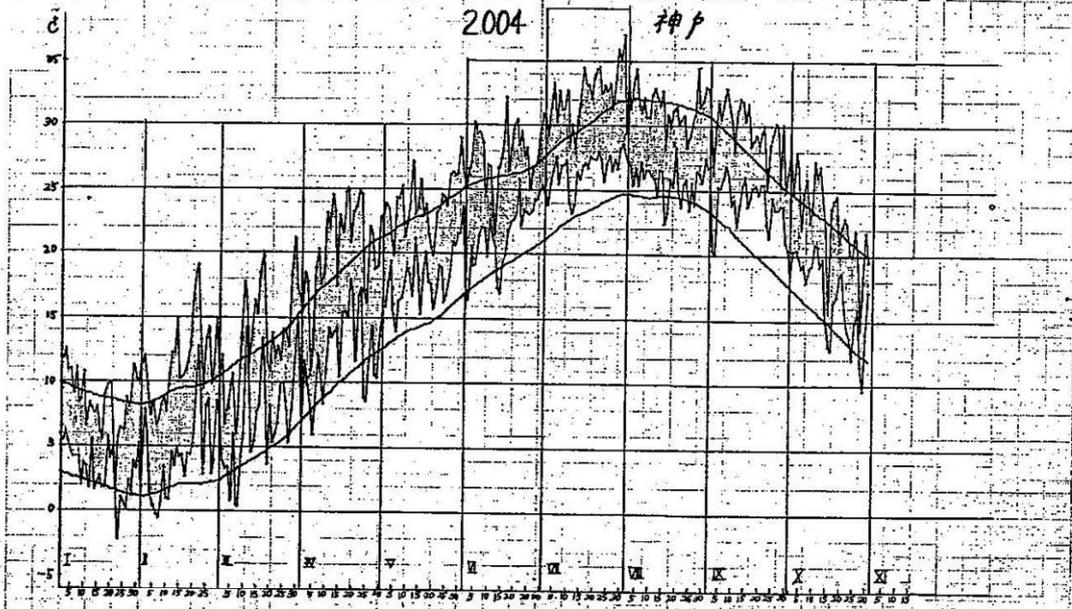
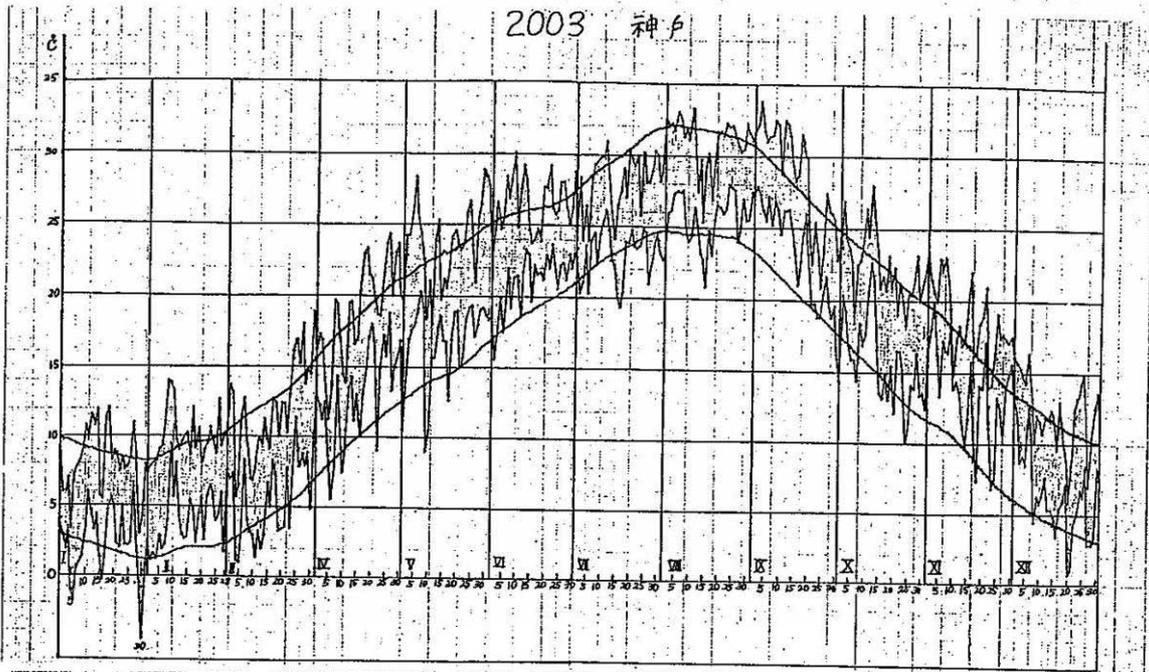
- ・治水では、堤防の強化を第一に考えなければならない。対策してまず流域委員会よりも早くから発足した「武庫川堤防技術検討委員会」とも協議すべきと孝える。
 - ・地球温暖化による気候変動で、近年局地的豪雨が今後頻回発生することが予想される。頻発する超過洪水対策として、ハード面だけでなく、ソフト面の充実を計るべきである。浸水域地図、ハザードマップの作成、啓発、活用に力を注ぐべきである。
 - ・新聞では、青野ダムのために、三田市街地の浸水を防げたと報じられているが、しかし「これ以上雨が降っていたら、放流ゲートを全開にしなければならなかった。」ともいうダムの功罪については、流域委員会で十分に検討すべきである。
- 今回の台風の武庫川本流の水量を考えると、武庫川ダム（かつて建設計画があり、現在0ベースから出発）は不要だった、と実感できた。

2004年 神戸における気温 8月を除く夏期の気温は極めて異常高温であった。 法西 浩 提供



神戸における過去5年間の気温を示す 2003年を除いて、5年間の夏期は異常高温だった

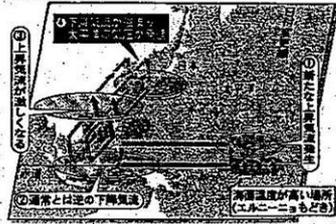




法西 浩 提供

2004年(平成16年)7月23日

太平洋高気圧発達メカニズム



猛暑・集中豪雨…異常な夏

東大教授が説明
エルニーニョは南米ペルー沖の海
水温度が上昇する異常な現象で、
エルニーニョ現象は、南米ペルー沖の
海水温度が上昇し、太平洋の東部
に高気圧が形成され、日本付近に
高気圧が停滞し、猛暑や集中豪雨
の原因となる。

上昇気流発生⇒日本で下降「エルニーニョ」もどき

太平洋高気圧の中心部が日本付近に停滞し、日本付近に高気圧が停滞し、猛暑や集中豪雨の原因となる。エルニーニョ現象は、南米ペルー沖の海水温度が上昇し、太平洋の東部に高気圧が形成され、日本付近に高気圧が停滞し、猛暑や集中豪雨の原因となる。

太平洋中央の 水温上昇原因